

奥羽大学報



122

目次

平成21年度入学式	2
新入生オリエンテーション／(歯)第1学年学外研修／ (薬)フレッシュマン・ミーティング	4
大学院入学式・オリエンテーション／影山晴川育英奨学金授与式	5
国家試験と今年度の教育支援体制	6
平成21年度歯学部講義撮影実施／平成21年度科学研究費補助金 (薬)早期体験学習／授業参観	7
(薬)早期体験学習／授業参観	8
父兄会総会・保護者懇談会	9
平成21年度入試状況／学生部・学生課前期合同学内指導	10
学友会活動記録／学長杯球技大会	11
(薬)卒業生就職状況／高等学校の本学見学	12
附属病院	13
ご案内	14
図書館・余滴	15
同窓会／同窓生のひろば	16
指定職紹介	17
新任教授紹介	19
平成21年度教学関係人事／平成21年度客員教授・非常勤講師	22
人事	24

第2回 7/25 SAT
第3回 8/22 SAT

オープンキャンパス

歯科医師・薬剤師を模擬体験しよう！



歯科医師模擬体験



薬剤師模擬体験

オープンキャンパス開催予定

第4回
9/5 SAT

オープンキャンパスに参加される方は、電話・FAX
又はEメールにて学部を指定して事前にお申込み願います。

奥羽大学 歯学部・薬学部

豊かな人間性を育成する大学



教務課入試係

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂 31-1
TEL/024-932-8931 (代) FAX/024-933-7372
E-mail/info@chu-u.ac.jp

<http://www.ohu-u.ac.jp>

平成21年度入学式

平成21年度入学式が4月4日(土)午前10時より本学記念講堂にて挙行された。式は国歌斉唱に始まり、歯学部53名、薬学部93名の新入生全員が呼名され、清水秋雄学長より入学が許可された。つづいて、厳粛な雰囲気の中、学長告辞、新入生代表宣誓、理事長祝辞と式は進行し、最後に教授紹介が行われた。



告 辞

学 長 清 水 秋 雄

平成21年度奥羽大学入学式を挙行するに当たり、ご来賓の学校法人晴川学舎 理事長影山英之先生はじめ役員・関係各位のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

歯学部第38期生ならびに薬学部第5期生の皆さん、入学おめでとうございます。歯学・薬学系大学を目指した日頃の努力に、敬意を表するとともに、ご父兄ともどもお喜びのこと同慶の至りであります。

皆さんは、本日より大人扱いされる大学生になります。本学の学生は、一般学部とは異なり医療系資格系学部の性質から、卒後の進路が大方決まっているのが特徴であります。

将来、皆さんを待ち受けている社会の医療に関しては、その対象となるのは全年齢階層にわたりますが、そのうち病気にかかり易い、あるいは病気を長く抱えている高齢者層に偏りがあります。かつて、医療は急性期の治療

活動に追われていましたが、今や健康者、病人、健康回復者と幅広い健康状態の人達が対象になっています。

患者と医療人との関係も変わり、治療上の決定権は患者側にシフトし、患者の意思を尊重するようになりました。治療法や医薬品も新たな発想の再生医療や分子・超微粒子レベルの治療等、先端医療の研究や実践が活発になりました。

健康に対する住民の考え方や対応も変化し、治療より予防、予防より健康増進への意識が向上し、国策としても自立して社会生活が営める健康寿命重視に転換し、生活習慣の側面から健康の自己管理に重点が置かれるようになりました。

このような医療上のニーズに、医療人として備えるべきいくつかの要件がありますが、それは教育にも反映されています。医療学は数学、物理学のような基礎学問と異なり、社会性の色濃い医療系学部においては、医療のよりよき社会的適応という観点から、患者の心身の状況や高齢社会における医療を考慮した教養系の社会・倫理・人間学の学問が重視されています。これら学問は、学生にはとかく軽んじられがちですが、臨床に携わるようになるとその重要性を痛感するようになります。

また、医学は日進月歩、特に従来考えられなかった独創的治療法の理解には、専門知識だけでなく、他分野の総合的知識や理解能力が必要となってきます。

皆さんには、本学での教養・専門教育や学友、教職員、さらには社会での交流等、人間学の実践学習によって建学の精神である「人間性豊かな有為な医療人の育成」にできる限り沿うよう努力することが必要であります。

どうか、地域社会の医療ニーズや期待に応えるため、学問には真摯に取り組み、仁愛の心を持った医療人たるを目指し、健康で充実した学生生活を送られるようお願い、告辞いたします。

祝 辞

理事長 影山 晏 弘

法人を代表して心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

皆さんはこれまで、それぞれに、小学校では児童として、中学校・高等学校では生徒として教育を受けてこられ、本学に入学した只今から「学生」となられました。

「学ぶ」とは「まねぶ」に由来し“まねてすること”で、自ら学ぶ者を「学生」と呼称します。ですから、大学では漫然と出席だけして時間を過ごして覚えられないことはありません。自らが学ぼうとする意欲と、理解する努力がなければ、何も修めることができません。

学ぶことは難しく、苦しさや辛さが伴うことがあります。あきらめず、逃げ出さず、投げ出さず、根気を持って続ければ、多くのことを知り、複雑なことも理解でき、物事の善し悪しの区別ができるようになり、それら全ては誰からも奪われることのない「知識」として、自分だけのものにすることができます。それも楽しみではないでしょうか。

人生についても同じことが言えます。大切なことは「志」、即ち先ず目標を持つことです。そして、自らの目標は、自らが力を尽くして自らが達成することです。

皆さんは「歯科医師」または「薬剤師」となることを目指して本学に入学され、学則を守り学業に専念することを誓われました。今、当にその第一歩を踏み出したのですから、なんとしても目標を達成していただきたい。

本日同席した皆が、そのことを望んでおります。

また、本学にいる間には是非とも身につけてほしいと希っているものがあります。それは社会人として最も大切な隣人を「思いやる心」であります。人の役に立ちたいと思う心を持ち、言葉や行動に表わすことができる人間になっていただきたい。本学の建学の精神である「豊かな人間性」がそこにあります。「豊

かな人間性」は一朝一夕に身につくものではありません。様々なことに興味を持ち、多くの人と触れ合い交わることにより、身につけていくものだと思います。皆さん、大いに学んで下さい。そして、人間性豊かな医療人となって、平和な未来社会を築き上げてくれることを切に希っております。

本日はおめでとう。

宣 誓

新入生代表 歯学部 柏原尚慧
新入生代表 薬学部 小林史和

本日は、私達一同にとりまして生涯忘れることのできない大きな喜びであります。

ただ今、学長先生の告辞をいただき、大学生としての自覚と責任の重大さを強く認識いたしました。

私達入学生一同は、ひとときの喜びにおごることなく、一日一日の積み重ねを大切に、建学の精神を尊び、学則を守り社会に役立つ人間を目指し、学業に専念することを誓います。



新入生オリエンテーション

歯学部

4月6日(月)、歯学部1年生に対して新入生オリエンテーションが行われた。午前の全体会では、まず学部長と学生部長より『人間性豊かな歯科医師』を目指すにあたっての訓示と心得の話があり、次いで学生生活と教務に関わる具体的な重要事項の説明が行われた。さらに、郡山保健所から招いた講師による薬物乱用防止セミナーが行われ、活発な質疑応答により薬物乱用の危険性を強く認識し、全員が決して違法な薬物には関わらないことを誓い合った。

午後は、各クラス会が開かれ、もっとも身近な存在となる仲間との絆を高めることで本学での学生生活のスタートを切った。

(栗城 源一)

薬学部

4月6日(月)午前9時より本学第2号講義棟第1教室において、薬学部新入生が一同に揃い新入生オリエンテーションが開催された。午前中は廣井薬学部長の訓話、上野学生部長の挨拶、各クラス担任の紹介、履修ガイダンスの順に進められた。

午後は、各クラスに分かれてクラス別ガイダンスが開かれた。新入生の自己紹介、クラス担任からより良いキャンパスライフを送るためのアドバイスと進み、疑問点などについての質疑応答、最後にキャンパス見学が行なわれ、午後4時前後に終了した。

(小谷 政晴)

(歯) 第1学年学外研修

4月10日(金)～11日(土)、入学直後の1年生の相互交流と親睦を深めるための学外研修が、学部長、学生部長、クラス担任、カウンセラー等が参加して、研修センター・ブリティッシュヒルズ(天栄村)において行われた。

初日は、初めにエンカウンターグループで学生の本音と本音のふれあいを計った後、これからの学生生活をいかに充実したものにするかについての先輩からの助言の話とKJ法を用いたグループワークと全体討議が行われた。これらのメニューを通じ、初めは遠慮がちであった学生が次第に打ち解けて交流の輪が大きくなっていくのが実感された。

2日目は施設の外国人スタッフの指導の下でアクティビティ(クッキング、スノーカー、アロマセラピー、ブリティッシュスポーツ)が行われ、前日とは違ったメンバーでの作業とスポーツは相互交流と親睦をさらに深めることができたようだ。

(栗城 源一)



(薬) フレッシュマン・ミーティング

4月7日(火)に、裏磐梯猫魔ホテルで 新入生を対象としてフレッシュマンミーティングを開催した。自他尊重を目標に、午前中は自己肯定感・所属感のアップを狙った「気になる自画像」等のエクササイズを、エンカウンターグループ主体で行った。午後は、自分の将来について考える機会となるよう“薬学と仕

影山晴川育英奨学金授与式

平成21年5月26日(火)学長室において奥羽大学影山晴川育英奨学金授与式を実施した。この奨学金は、成績・人物ともに優秀な学生に授与されるものである。

今年度は、伊藤義将(歯学部3年)、児玉節子(同4年)、山崎崇秀(同5年)の3名に奨学金と記念のメダルが授与された。また、清水秋雄学長より更なる活躍を期待しての激励の言葉をいただいた。

(渡邊 克己)

事”について紹介した後に、「10年後の自分」を思い描いた作文とその発表会・SGDを行った。どんな薬剤師を目指すかとその動機は様々であるが、お互い刺激しあい、モチベーションの高揚に寄与したことは間違いない。同時に百年の知己が得られれば幸いである。

(上野 明道)



大学院入学式・オリエンテーション

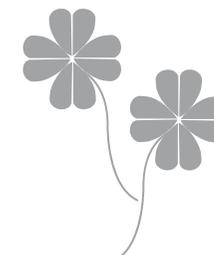
平成21年度の大学院歯学研究科入学式は4月4日(土)、午後1時から附属病院棟5階の第3会議室で大学院教員列席のもと挙行された。本年度の新入学生は9名で、清水秋雄学長より入学が許可された後、告辞があり、新入生への励ましの言葉があった。

またオリエンテーションは入学式終了後、新入生から4年生までの全員を対象に研究科長から本年度のカリキュラムの説明があった。特に新入生に対してはシラバスをもとに履修方法等についての詳しい説明がなされた。

(鈴木 康生)



(左から 伊藤義将 児玉節子 山崎崇秀)



国家試験と今年度の教育体制

歯学部

第102回歯科医師国家試験の合格率は新卒66.7%、既卒38.1%、全体として51.3%と芳しくありませんでした。そこで、歯科医師国家試験の成績を上げるための対策として、最近5年間の国家試験問題について各科目ごとに①担当科目の関連問題数の推移、②繰り返し出題されている項目、③増加傾向にある項目、④新傾向問題、⑤禁忌問題、⑥その他、と対策について冊子にまとめ、第5、6学年に配布し、学力向上につなぎます。

また、学内模擬試験を5月と6月に1回ずつ計2回行います。5月から6月の間は臨床演習の授業を行い、金曜日ごとにその授業の内容に対する確認試験を計6回行います。さらに今まで行ってきた授業内容に対して総合確認試験を3回行いますが、この総合確認試験は85%以上の得点をもって合格とし、合格点に達するまで試験を行います。7月からは臨床総合講義が始まりますが、講義内容に対して1週間ごとにアチーブメントテスト（計18回）を行い、80%以上の得点をもって合格とします。この総合確認試験とアチーブメントテストの基準を満たさないと卒業試験の受験資格が得られません。この他、総合試験（学外模擬試験）を6回行います。

これらの試験（学外模擬試験は除く）の結果はその都度、各科目ごとに学生各自の正答率をファイルし、学生の指導にあたります。また、各科目において試験ごとに成績が向上しているかどうか、どの項目が学生にとって不得意かをチェックして科目担当者に知らせ学力向上を図ります。

補講については、5月11日から12月11日の月曜日～金曜日の第8、9時限目に行い、基本的な学力を身につかせます。この他に夏期補講と冬期補講を予定しています。

国家試験の成績を良くするには教員が学生に良きアドバイスをすることが必要です。

教員一同が一丸となって学生を指導する体制で臨みます。（歯学部長 天野 義和）

薬学部

本学薬学部は平成17年4月に設置され、本年3月で4年制が完了して第一回卒業生を輩出しました。同時に、本学にとっての初めての薬剤師国家資格を体験しましたが、その結果は期待に反し68.7%となり、今後多くの課題を残すことになりました。

本年4月に新たに薬学部長に就任し、直ちに卒業延期者への国家資格対策に着手し、現在年間計画を実行しつつあります。できるだけ早く、且つ確実に現在の課題を解消し、新たな再生の道筋をつける努力をしたいと思えます。

以下に示しますように、その対策計画は大幅に変更されています。これに基づいて、新たな明るい展望を拓くべく、迅速に鋭意努力をしております。

本年度の卒業試験及び薬剤師国家試験対策の骨子は、次のようになります。卒業試験までの計画は、次の3期から成り立ちます。

基礎学力養成期は4～8月の5ヶ月で、この間に主として基礎薬学科目の学力を養います。

薬学専門教科の実力養成期は9～12月の4ヶ月であり、この間に薬学専門科目の準備を完成させます

12月上旬には総合薬学演習試験を行い卒業判定の第一歩とします。12月下旬から1月中旬までの約1ヶ月間は卒業試験準備期間で、総まとめを行い、第1回卒業関連試験(1月中旬)に臨みます。この試験に合格すると卒業が認定されますが、不合格者はさらに2週間程度の補講を受講の後、2月上旬に予定されている第2回卒業関連試験を受験します。

本年度の旧課程4年生には基礎学力の実力をつけるように努めていますが、特に成績下位約20名には、基礎薬学科目の基本を修得させるために特別対策を講じます。さらに、それでも不十分の場合には、個別指導を行うことにしています。

本年度より、6年制薬学教育の従来経験したことのない新たな課題に直面しています。

平成21年度歯学部講義撮影実施

歯学部では、本年度第1学年～第4学年の全講義の授業の撮影を企画・実施している。

この取り組みは、天野歯学部長のもとに全学部を挙げて実施するものであり、本学歯学部の教育改革の一端として教員個々の教育内容の充実を目指すこと、また、学生の学力向上を図ることが目的である。

撮影された授業はDVDライブラリー化され、授業を欠席した学生が閲覧することや講義を担当した教員が自己の授業分析・評価・改善等の参考とするために利用される。撮影実施方法は、本学事務系職員が授業開始から終了までの間、学生同様に在室して撮影を行っている。本年4月2日から撮影を開始し、5月末現在で撮影記録された講義は443コマとなった。

今後はFDおよびSDの一環として、講義撮影の機会を大いに活用されることを期待している。

（設楽 民雄）

平成21年度科学研究費補助金

（単位：円）

研究科目	区分	研究代表者		交付額 (直接経費)	交付額 (間接経費)
		所属：職	氏名		
若手研究B	新規	歯学部：助教	玉井利代子	2,100,000	630,000
		歯学部：助教	前田 豊信	1,400,000	420,000
		歯学部：助教	宇佐美晶信	2,100,000	630,000
		薬学部：助手	小野 哲也	2,200,000	660,000
	継続	歯学部：助教	中 貴弘	800,000	240,000
		薬学部：講師	木田 雄一	900,000	270,000
基盤研究C	新規	歯学部：教授	※深井 直実	2,200,000	660,000
		歯学部：教授	高橋 慶壮	1,500,000	450,000
	継続	歯学部：教授	高田 訓	1,900,000	570,000
		歯学部：教授	嶋倉 道郎	600,000	180,000
		薬学部：教授	※米原 典史	500,000	150,000
		薬学部：教授	柏木 良友	900,000	270,000
若手研究(スタートアップ)	継続	薬学部：講師	高橋 成周	1,200,000	360,000
萌芽研究	新規	薬学部：准教授	※林 茂寛	1,300,000	
		薬学部：准教授	※山本 正雅	2,500,000	
合計		15件		22,100,000	5,490,000
交付総額				27,590,000	

※印は他研究機関に研究分担者がいる研究です。

(薬) 早期体験学習

新入生を対象にした早期体験学習は、5月20日に行われ、本学附属病院の各診療部門、薬局、病棟、ナースステーションを見学した。この見学は、医療チームの一員としての薬剤師の役割を見聞することにより、薬学を学ぶ動機付け、心構え、および学習意欲の向上を目的にしている。

新入生は10班に分かれ、①本学附属病院の各診療科の特徴や診療の流れについて、②薬局では麻薬、冷所保管薬やその調剤および歯科用薬品の払出・管理について、③ナースステーションでは病棟配置薬の使用期限とその管理について、カルテの読み方、臨床検査値、薬歴、看護記録およびチーム医療の重要性について、薬剤師が行うベッドサイド患者接遇についてなど、多岐にわたる内容を学習した。

(多田 均)



授業参観

歯学部

5月15日(金)父兄会の前日に歯学部全学年の講義・実習の授業参観を行い、23名の父兄の参観があった。

翌日の父兄会総会で参加された父兄から「1年から6年まで見させていただいた。先生がとても熱心に教えている様子がよく分かった。ある実習ではマンツーマンに近い形で実習がされて良かった。また6年の講義では学生の目の輝きが違って見えた、このような機会を今後も設けてほしい。」との感想があり、学部長より「授業参観で悪い面もあつたら遠慮しないで意見として出してほしい、また参観はいつでも出来るようにしたい。」との話があった。

参加された父兄からのアンケートを検討し、参観日の開催時期や回数、今後の学生指導の参考とすることにした。今年度は10月の父兄懇談会前日にもう一回参観日を予定している。

(鈴木 陽典)

薬学部

5月22日(金)に、終日父兄による講義(5号館)、実習(1号館)、そして演習(第2講義棟)の授業参観が行われ、計41名に参加していただいた。特に実習の参観では、昔を懐かしみながら、わが子の行う実習を見学している姿があった。担当教員による実習内容の説明にも、皆熱心に耳を傾け懇談していた。

(上野 明道)



父兄会総会・保護者懇談会

歯学部

5月16日(土)に第2講義棟第1講義室で第2回定時総会を開催した。出席者91名のもと谷川会長を議長として下記の議案を審議し承認された。

【報告事項】

(1) 平成20年度事業報告

【審議事項】

- (1) 平成21年度の役員選出について
- (2) 収支決算(案)について
- (3) 歯学部父兄会から大学への寄付について
- (4) 第6学年、第5学年の卒業準備委員会管理について
- (5) 父兄会経費について
- (6) 父兄会会則改正について

また、同日午後には保護者個別懇談会を開催した。

今回は3者面談形式で行われ、学生・保護者・クラス担任が共通した認識で目標を再確認し、今後の学生生活がさらに充実するよう真剣な面持ちで話し合っていた。

(渡邊 克己)



(歯)保護者懇談会

薬学部

5月22日(金)に第1回幹事会ならびに第2回総会が開催された。総会への参加者は41名であった。

小林会長を議長として下記の議案を審議し承認された。

【報告事項】

(1) 平成20年度事業報告

【審議事項】

- (1) 平成21年度の役員選出について
- (2) 収支決算(案)について

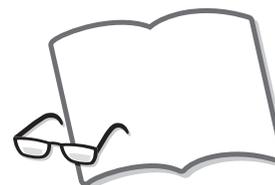
なお、父兄からは第94回薬剤師国家試験の合格率、これからの国家試験対策の具体策はあるのか、また来年度の病院・薬局実務実習について、学生の受け入れ先は具体的に決まっているのか等、意見や要望が活発に出され、廣井薬学部長、上野学生部長がそれぞれに説明した。

父兄の方々の大学教育に対する関心は高く、今後もこれらの場で活発な意見交換を行うことにより本学の教育内容をより良いものにしていきたい。

(安藤 政明)



(薬)父兄会総会



平成21年度入試状況

今年度の本学歯学部、薬学部の入試状況は以下の通りである。

歯学部

全体結果および倍率						
入試全体	募集定員(A)	志願者数	受験者数(B)	合格者数	入学者数	倍率(B/A)
	96名	130名	117名	87名	53名	1.2
各試験別結果および倍率						
推薦入試	募集定員(A)	志願者数	受験者数(B)	合格者数	入学者数	倍率(B/A)
	35名	34名	34名	32名	30名	1.0
一般入試	募集定員(A)	志願者数	受験者数(B)	合格者数	入学者数	倍率(B/A)
	61名	96名	83名	55名	23名	1.4

薬学部

全体結果および倍率						
入試全体	募集定員(A)	志願者数	受験者数(B)	合格者数	入学者数	倍率(B/A)
	140名	194名	162名	140名	93名	1.2
各試験別結果および倍率						
推薦入試	募集定員(A)	志願者数	受験者数(B)	合格者数	入学者数	倍率(B/A)
	60名	60名	60名	60名	59名	1.0
一般入試	募集定員(A)	志願者数	受験者数(B)	合格者数	入学者数	倍率(B/A)
	80名	134名	102名	80名	34名	1.3

学生部・学生課前期合同学内指導

5月25日(月)、6月1日(月)に歯学部・薬学部の学生部委員・学年主任・クラス担任と学事部職員合同による構内全域の学内指導が行われた。指導内容は駐輪場の正しい場所の再確認指導や交通マナーの注意または遅刻者への注意等が主な指導内容である。学生も少し驚いたようであったが挨拶を交わす学生も多く良かったと思う。

後期は今回の問題点を改善して、なおいっそう効果のある指導内容をめざしたい。

(安藤 政明)



学生会活動記録

○バスケットボール部
北日本デンタル
5月2日(土)・5月3日(日)
岩手歯科大学
男子 優勝



バスケットボール部

○卓球部
第34回東北歯科大会
4月25日(土)・4月26日(日)
新潟大学
竹部 拓伸 ベスト8位

○フットサル
試合(ユニホーム争奪戦)
4月19日(日)
フットサルサイト郡山
3位

○ソフトテニス
東日本薬学生春季ソフトテニス大会
5月23日(土)・5月24日(日)
千葉県 白子
淡路・阿部ペア ベスト16位

学長杯球技大会

5月30日(土)・31日(日)に第15回奥羽大学学長杯球技大会が開催された。今年は例年行われているソフトボール・フットサル・バレーボールの他に、新種目としてバドミントンを加えた計4種目で行われた。

球技大会は毎年2日間の日程で行われており、ソフトボール、フットサルは2日間、バレーボールは1日目に、バドミントンは2日目に実施された。今年は両日も雨が心配されたが、何とか天候にも恵まれた。ソフトボール・バレーボール共に順調に試合が進行し、フットサルでは臨機応変な対応で何とか全ての試合を実施できた。新しい試みとして行われたバドミントンもたくさんの人たちの協力をいただき、無事に終えることができた。おかげで、全ての種目で1位、2位、3位を決定することができた。

どの競技もチームが一丸となって、多くの学生や職員が優勝(賞金獲得)を目指して、白熱した戦いを繰り広げていた。また、たくさん参加者が汗をかき、一生懸命プレーしている姿はとても印象的だった。

来年も今大会を生かし、全ての競技において参加者に楽しんでもらえるような球技大会を開催できたらと思う。

(花園 怜美 薬4年)



(薬) 卒業生就職状況

平成21年3月、薬学部は第一期卒業生を送り出した。卒業生のためにキャリアガイダンス、インターンシップ、公務員ガイダンス、企業との懇談会などの就職支援を行ってきた。平成20年3月の進路希望調査では、ほとんどの学生が就職を希望しており、平成21年2月の進路調査の結果は、別表の通りである。多くの学生が希望の就職先で内定を得ることができた。今後も卒業後の調査を含め支援を続けていく所存である。

(安藤 政明)

卒業生進路先

調剤薬局	66名□	44.6%
病院	23名□	15.5%
ドラッグストア	10名□	6.8%
製薬会社	5名□	3.4%
CRO(開発業務臨床試験受託機関)	1名□	0.7%
公務員	6名□	4.1%
大学院	10名□	6.8%
留学	1名□	0.7%
未定	26名□	17.6%
計	148名□	

高等学校の本学見学

5月27日(水)午後1時から約2時間にわたり、福島県立修明高等学校2年生199名と11名の先生方が本学を見学に訪れた。

歯学部および薬学部の教育について、天野義和歯学部長、廣井邦夫薬学部長よりそれぞれ説明を受けたのち、薬用植物園と模擬薬局を見学した。幸い五月晴れの天候に恵まれ、薬用植物園では、生徒達は「その辺の草が薬になるの」と新たな発見に楽しいひと時を過ごしたようであった。

(谷代 尚人)



〈天野歯学部長による学部紹介〉



〈キャンパス見学〉
(薬用植物園)



附属病院

平成21年度歯科医師臨床研修開始式

平成21年度歯科医師臨床研修の開始式が4月1日(水)に関係者多数の臨席を得、講義棟第2研修室で挙行された。本年度研修を受ける歯科医師は、単独型プログラム20名と地域医療短期プログラム18名の38名での実施となった。

午後2時30分に開式が宣せられ、研修歯科医がそれぞれ呼名され、起立した。その後臨床研修の意義・目的や歯科医師としての人格の涵養と労働者としての自己研修のあり方、さらに健康の必要性について病院長より訓辞を受けた。続いて天野歯学部長より歯科医師臨床研修におけるインフォームドコンセントやコミュニケーション・スキルの重要性についてお話をお聞きして、閉式となった。

(高橋 和裕)



平成21年度登院式

歯学部5年生(81名)の登院式が、4月1日(水)の午後2時、臨床講義室において挙行された。司会は清野 晃孝が担当し、式には歯学部長、附属病院長および関係教職員が出席した。

初めに天野義和歯学部長から臨床実習の意義や充実した実習と勉学に励むように挨拶があり、清野和夫附属病院長から診療参加型の臨床実習に積極的に取り組むよう訓示があり、式を厳粛に終了した。

とりわけ本年度の実習は、これまでの臨床実習から試行錯誤を踏まえプレクリニックを含め13か月にわたり実施され臨床教育の根幹をなす重要な段階であり、臨床実習生全員がこの日の初心を忘れずに実のある実習の遂行を期待するものである。

(清野 晃孝)



ご案内

オープンキャンパス

高校生の夏休み期間を利用して、7月25日(土)および8月22日(土)にオープンキャンパスを開催します。この時期、各大学でも同様の試みが行われるようですが、本学においても多くの方の参加を得、ぜひ入学したいという思いをお持ち帰りいただけるよう、全学をあげて取り組みたいと思います。

当日は、昨年度初めて導入し好評だった、参加者が自由に内容を選択できるア・ラ・カルト方式で行います。

詳細はホームページをご覧ください。

7/25 (土)	<p>○実習体験 歯学部 「コンピューターで歯医者さんを体験しよう」 (齋藤高弘 教授 他) 「歯医者さんの道具を体験しよう」 (清野晃孝 准教授 他)</p> <p>薬学部 「街角薬局を体験しよう-模擬薬局体験-」 (東海林徹 教授 他) 「炎症に効く薬の作用を見てみよう」 (阿部賢志 講師)</p> <p>○模擬授業 歯学部 「どうして、いびきをかくの？」 (高田訓 教授) 薬学部 「高血圧-どんな薬があるの？」 (高田芳伸 教授)</p> <p>○キャンパス見学 ○個別進学相談</p>
8/22 (土)	<p>○実習体験 歯学部 「コンピューターで歯医者さんを体験しよう」 (齋藤高弘 教授 他) 「歯医者さんの道具を体験しよう」 (清野晃孝 准教授 他)</p> <p>薬学部 「街角薬局を体験しよう-模擬薬局体験-」 (東海林徹 教授 他) 「血圧変動をモニターしよう」 (八巻史子 講師)</p> <p>○模擬授業 歯学部 「目で見える口臭」 (廣瀬公治 教授) 薬学部 「糖尿病-どんな薬があるの？」 (衛藤雅昭 教授)</p> <p>○キャンパス見学 ○個別進学相談</p>

平成21年度 高大連携講座

奥羽大学では、社会に開かれた大学として教育・研究の情報発信を積極的に行っており、その一環として平成20年度から「高大連携講座」を実施しています。この講座は、高校に本学の教職員が出向き、研究テーマの最先端の事情あるいは問題点について、研究成果をもとに高校生にも分かるように説明する授業のことです。

今年度のプログラムは、ホームページをご覧ください。

(薬)中学生・高校生のための科学実験講座

日 時:8月6日(休) 午前の部10:00~12:00
午後部の部13:00~15:00
会 場:1号館各実習室
対 象:科学に興味を持つ中学生及び高校生
定 員:各講座とも午前・午後各10名
内 容:次の3コースを設けました。
①「製剤とは?錠剤を作ってみよう」
柏木良友 教授、高橋成周講師
小野哲也 助手
②「電気がなくてもOK!化学反応で“光”
を作ってみよう!」
岩木和夫 准教授、長嶋友美 助手
③「ミクロの世界をのぞいてみよう」
岩間正典 教授、堀江 均 教授
※予約が必要になります。詳細はホームページでご確認ください。

(薬)薬用植物園見学会

日 時:7月31日(金) 第1部13:00~14:30
第2部15:00~16:30
会 場:薬用植物園及び1号館標本室
内 容:薬用植物の見学及び生薬体験
担 当:藤井祐一 教授、大越絵実加 助手
対 象:どなたでも参加できます。
定 員:第1部 20名、第2部 20名
※予約が必要になります。詳細はホームページでご確認ください。

図書館

余 滴

私が薦める一冊の本

「ウイルスの脅威-人類の長い戦い-」
(マイケル・オールドストーン著 岩波書店)
新型インフルエンザに関するニュースが連日、さまざまなメディアで伝えられている。すでに日本でも多くの感染者が確認されているが、幸いにして強力な病原性を発揮するまでには至っていない様子である。ここに紹介する本は感染症をおこすウイルスについて天然痘ウイルスから始まって、麻疹ウイルス、エイズウイルス、インフルエンザウイルスまで、多くの逸話を含めて読みやすく解説したものである。特に新たなウイルスに感染した患者が発見されてから、原因となるウイルスが突き止められるまでの過程はよく描かれており、感染症というものを深く理解するための格好のテキストにもなっている。

著者であるオールドストーン自身も高名なウイルス学研究者であるため、ウイルスに関する正しい専門的な知識を得ることができる。一般向けのこのような書物の場合、誤った内容が記載されているケースがよくある。しかし、この本の場合にはそのような心配がまったく無い点も推薦できる理由である。

著者はこの本を書いた動機が中学生時代に読んだ「微生物の狩人」(ポール・ドクライフ著、日本では岩波書店から刊)にあると述べている。「微生物の狩人」はコッホやパスツールなどの医学史に残る微生物学者達の評伝で、世界的な名著の一つである。私自身も高校生の時に読んだことがあり、微生物学関係の職業に就いている者で、この本を中高生時代に読んだ経験を持つ者は多い。今回の「ウイルスの脅威-人類の長い戦い-」は言うなれば、21世紀の「微生物の狩人」である。歯学部と薬学部の学生諸君がこの本を読んで、ウイルス感染症と微生物学に興味を持ってくれれば幸いである。

(清浦 有祐)

大阪の地を離れる事を躊躇していた私は、ある教授に“米原君、50過ぎまで研究をすれば、次の君の役目は教育だよ”と言われた。この言葉に背を押される形で全く未知の東北-郡山に単身赴任して早4年が経とうとしている。満足いく教育を行っているかと問われれば、まだまだ駄目だという自己否定とこれでもいいという自己満足を繰り返す日々であるのが現状だ。この地に住んで素晴らしい事は、これまであまり気に留める事のなかった四季の移ろいを感じられることである。厳しく肌を刺す程の寒風の季節が終わると、いよいよ桜のシーズンの始まりだ。大学構内、逢瀬川周辺、開成山公園と市内の桜が一斉に開花する。我々にとり最も身近な桜は、ソメイヨシノである。その鮮やかさ、豪華爛漫さは、群を抜くものであるが、福島の地には桜の名所、名木、品種の何と多いことであろう。三春の滝桜(別名縄文桜)を代表とする枝垂れ桜、ヒカン桜、山ザクラ、そして更に日本の自然美で欠かせないものの一つが秋の紅葉。これらの自然がこの地の文化、伝統を培い、美-人間性をも育んでいるように思われる。この地の文化、伝統を理解し美を楽しむため、可能な限り春は、観桜、初夏から秋にかけては、山登りする事を心がけている。初夏の尾瀬、安達太良山、夏の磐梯山、秋の吾妻山と山も四季によりそれぞれの顔を持ち、登る人もまた様々である。多数の70歳以上と思われる女性の方々が十分な装備で楽しそうに、一方男性陣は、やや疲れ気味に登っている光景(日本の縮図の反映?)を見るにつけ、山登りをしながら社会現象を垣間見ているような気にもなる。自然(美)を楽しみながら、健康を維持し、教育という使命をこの地で全うできれば本望と思う今日この頃である。かの教授は“教育の後は、ライセンスだよ、米原君”とも言われた。できればライセンスを活用し、健康で一生現役を目指し、社会貢献したいものである。

(米原 典史)

同窓会

歯学部

同窓の先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

開成会新潟支部の近況報告をさせていただきます。

創立30周年を経た現在、会員数36名でいたい1年に1人のペースで新入会員が増加しています。2期生の古館厚先生が支部長となりコンパクトな利点を生かした、フットワークのよい和気あいあいとした支部です。

主な活動としては、春の支部総会、秋の空穂の会、そして冬の忘年会を兼ねた支部学会です。

空穂の会というのは、新潟県内の私立歯科大学6支部で構成され、年1回の学術講演会、懇親会、ゴルフコンペを行っています。昨年は当奥羽大学が主幹校となり、岐阜大学医学系精神病理学の塩八俊樹教授より「日常歯科診療で遭遇する精神疾患～その診断と対応」というテーマで講演して頂きました。

さて新潟といえば、米・酒・甘エビ……等が有名ですが、最近ではNHK大河ドラマ「天地人」の舞台が新潟上越市となり直江兼統が大人気となっております。

皆さんご存知のように直江兼統という人物は、上杉景勝の家臣ながら、天下人豊臣秀吉・徳川家康らを魅了した男です。少年時代兼統は上杉謙信から「目先の利に捕らわれず背筋を伸ばして生きることが“義”の精神」と教えられ、この言葉を深く心に刻むことで成長し、謙信亡き後、上杉景勝を支えながら上杉家存亡と越後の民を守る戦いに挑みます。ひたすら利のみを求める戦国時代に、兼統は利になびかず主君のため、民のため、家族のために自らの理想とする「義」と「愛」を貫く生き方を志してきました。

この“義”の精神は、我々歯科医師の目標とする生き方でもあると思われませんが、新潟県支部の先生方はこのDNAを受け継いでいるのか、すばらしい支部となっております。

(新潟県支部 富田 直志)

同窓生のひろば

深井 直樹 (歯学部10期生)

卒業してから約四半世紀が過ぎようとしている。幸いにも評議員をさせていただいているので、ある意味で第二の故郷ともいえる郡山の時間に伴う変遷を見続けることができている。われわれ10期のころに比べると随分と変わってきました。卒業後、一度も郡山を訪ねていない同窓生がいるとするならばびっくりするから行ってごらんと感じます。

時折無性に学生時代によく利用していた食事処の味が思い出され、恋しくなることがある。次回の来郡の際には必ず行こうと思いつつながら愚用に引きずられ、またして新幹線の人になってしまう。何故か薄皮饅頭は必ず帰りの携行品として鞆の加重を増すのであるが。

変わったといえばわれわれ歯科を取り巻く環境も大きく変化し続けていることはご存じの通りである。どんなことを言ったところでしばらくは回復？であるが、しかしである。こんな時にこそ“なにくそ”と頑張れば、いざ努力は報われると思ってしまう。では日々の努力はどのように行えばいいのか？これもまたすべての歯科医師が毎日考えていることだと思います。身近なところから少しずつ、纏れた紐をほどくように解決していかねばいけいないのだと感じています。もう少しの辛抱です。あと少しで必ずや大きな変革期が到来いたします。自分事ですが来年は長男の大学受験で、彼曰く、“郡山にはおいしい食べ物屋さんあるの？”平和な奴だなと思いつつ、自分が好んで通っていたあの店やこの店にもう一度行ける機会が増える状況が作れるように、今日から夢見る新たな歯科界の到来に向け頑張ろうと思っているわけです。

指定職紹介



薬学部長

廣井 邦雄

この度、薬学部長職の拝命を受け、4月より就任いたしました。多くの教職員の皆様には、是非御支援・御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

我が国は、医療の専門化、高度化そして多様化が一層進展する一方で、世界に例を見ない速さで高齢化が進んでおり、少子化の進展とあいまってこれからの社会に多くの困難な課題が投げかけられております。保健医療のニーズは一層の広がりを見せており、それとともに医療従事者の一員として薬剤師の職務はますます重視されてきています。

本学は、優れた臨床薬剤師を養成することを第一義的目標にしております。そのためには、人間の尊厳を理解し、人々と共感できるよう、豊かな人間性を磨き、科学的知識に裏付けられた専門的技術と倫理的判断力を養うよう薬学教育に努めねばならないと思います。

日本海軍の揺籃の地である江田島で教授職にいたイギリス人セシル・ブロックは、昭和18年とまさに戦争中にもかかわらずGentlemanになるための教育をするように言われました。海軍軍人になる前にまずGentlemanでなければならぬということです。

私たちに振り返ってみると、医療の専門職を養成する大学であることが当然ですが、その前に人間として高い理性と教養を身につけたLadies and Gentlemenを養成するための教育が行われなければならないと思います。そして、本校で学んだ卒業生は一味違うといわれるような立派な医療人を輩出し、そのような伝統を築いていきたいと念願しています。

最後に、「創業は安く守勢は難し」という中国・唐の「貞観政要」の文を引用し、私自身の戒めと共に皆様の御協力をお願いいたします。



柳澤 欣吾

(日文科8期生)

同窓生の皆様、ご無沙汰しております。私は大学を卒業して10年目の春を迎えました。

旧文学部棟（現5号館）前や、テニスコート沿いの桜が咲き誇る美しいキャンパスで学び、4畳半下宿で学科を越えた友人と過ごした学生生活に、懐かしさが込み上げてきます。

会津若松市の知人宅で方言調査をし、レポート作成のためテープ起こしに苦戦したこと、160名ほどの学生の前で、同期の本多さんと5週にわたり「有間皇子」の和歌一首のよみを巡り注釈書をたどりながら考察した上代文学演習『古今和歌集』（加藤先生）や「国語科教育法」（田村先生）の演習、そして山崎ゼミに所属後『万葉集』を専攻し、湯原王の作歌19首の新たなよみを試み拙い卒業論文を執筆したこと……。人情味豊かな日文科の先生方や、教職・司書課程で尊敬すべき先生方にご教示いただいた文学部で学んだ4年間は、今でも私の人生の大きな支えになっています。

長野県の南信地方で5校目、今年度で夜間定時制勤務も4年目です。全校生徒50名の国語科と1年生の書道科、教務係と生徒会主任、バドミントン部顧問を担当しています。

製造業やサービス業等に従事し、1日4時間授業を受ける生徒の多くは、中学時は不登校だったり様々な課題を抱える者ばかりで、基礎学力向上に励む授業運営も、なおさら「わかりやすい、楽しい授業」が求められます。対人関係を克服し、お互いの考えを尊重しあい、人を思いやる心を育むにはどうしたらよいか、授業や特別活動等での生徒への声かけのなかで、生徒の成長・目の輝きを見逃さないよう努めていく所存です。

生徒の視線を大切に様々な課題に挑戦しながら、「初志貫徹」を目指して励みたいと思います。



薬学部学生部長
上野 明道

この度、極めて重要な時期に経験の浅い私が、薬学部学生部長の要職を拝命致しました。その重責を痛感しつつ微力ではございますが、全力を尽くす所存でございますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

薬学部では今春第1期生の薬剤師国家試験を経験し、残念なことに、147名受験、101名合格(68.71%)という厳しい結果に終わりました。思うに、二つの“空白”-9月期の病院実習での身体的・精神的な空白と最終試験から卒業判定までの空白の10日間(手つかずの状態から卒業できるとの安堵感による緊張の緩み)-、それに二つの“疲労”-試験疲れと土日にも及んだ演習疲れ-が重なったのかも知れません。我々教員の力量不足もあつたでしょう。そうした反省に立ち、全教員一丸となって教育力向上に努めている最中であります。

薬学部6年制の選択による医療系薬学への操舵は、臨床系教育の充実に向けられています。その前段階として、12月以降に予定されている新4年生のCBT、OSCEへの初挑戦があります。5年次では、2.5ヶ月ずつの病院と調剤薬局での実務実習、それに向けての122時間に及ぶ実務実習事前学習も、この6月後半からスタートします。

現在、来期の国家試験に向けて旧課程4年生のための総合薬学演習(307コマ)、新課程4年生のための総合薬学演習I(CBT対策・194コマ)が、同時進行しております。個別指導も適宜導入の予定であり、低学年教育の充実と併せ、モチベーションの高揚を図っております。本学発展のため、少しでも役立つよう職責を全うしたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



図書館長
安藤 勝

このたび、図書館長を拝命いたしました。図書館長の任期は2年間ですが、私の場合任期の継続を重ねておりますので、都合11年目の就任となりました。ますますその責任の重さを感じております。従前同様よろしくお願いいたします。

初めて図書館長に就任した10年前、図書館はインターネットが使える環境にありませんでした。ホームページもありません。インターネット導入の話をして、「インターネットで何をするんだ」という程度の認識でした。それが今日、当り前の道具となりました。電子ジャーナルも加速度的に増加してきており、いよいよもって、紙と印刷文化を基本としてきた従来型の図書館は電子媒体をも採り入れたハイブリッドな図書館として誕生してきました。

さらにここ数年来、「学術機関リポジトリ」というシステム構築が叫ばれております。これは各機関(大学)単位でのインターネット上の保存書庫のことで、コンテンツとして電子化された紀要、論文集、学会発表資料、学位論文、学術雑誌への投稿論文などがあり、世界中の人が無償で閲覧できるという仕組みです。研究成果である学術情報は公共の財産だという考えが広く認識されるようになり、その公開がいつそう促進されます。

今後益々学術情報伝達のフレームは変革していくでしょう。とは言え、図書館のミッションは「知」の集積と伝搬にあります。

学生や教職員の皆様が図書館を大いに活用してくださることを念じております。

新任教授紹介



歯学部 歯科補綴学
山森 徹雄

この度、歯科補綴学講座の教授を拝命いたしました。これもひとえに皆様からのご指導、ご支援の賜と感謝いたしております。私は、岩手医科大学歯学部、同大学院歯学研究科を経て同歯学部勤務しておりましたが、1994年に本学歯科補綴学第二講座の講師として任用いただき、以来、助教授、准教授、臨床教授(兼任)の立場をいただきながら約15年にわたり本学で多くのことを学んでまいりました。なかでも、共同作業で仕事を達成する喜びを仲間と分かち合えたのは、一生の財産であると感じております。

歯科補綴学は、講義以外に模型実習や臨床実習で学生と密に接する分野であり、教育の楽しさと難しさを学生から教わった部分も多いと思います。今後は、私自身が強く感じている、歯科医師として歯科医療に携わることのすばらしさを学生に伝えていきたいと考えております。教育の充実が求められる本学の現状をふまえ、さらなる努力を重ねてまいります。臨床では、地域の中核医療機関として高度かつ安全な医療を実践するとともに、後進の育成に努めたいと思います。さらに、口腔インプラントや部分床義歯の生体力学的研究、義歯用材料の研磨、味覚に関する研究など、これまでのテーマを発展させる所存です。

幸いなことに、私はこれまで指導者や講座内外で一緒に仕事をするスタッフに恵まれてきました。課題は山積していますが、すばらしい「仲間」とともに、楽しみながら一つずつ実践し、本学の発展に貢献できるような力を尽くしてまいります。また、これが次世代を担う人材育成につながると信じております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、お願いいたします。



薬学部 生薬学
藤井 祐一

長い企業内研究者を経て、4年前に薬学部創設に伴い赴任してまいりました。初めての本格的な大学教育の現場に立ち、戸惑うこと、教授する難しさを実感してきました。さらにこのような中で教授になることの責任の重さ、重大さを痛感しています。

思い起こせば、製薬企業では、医薬品の開発、漢方薬の効能解析、安全性の確保などをテーマに臨床研究含め、研究活動の多くを社内外の研究者と共にしてきました。動物実験結果と人の結果との乖離など、まだまだ検討の必要性や、生薬や薬用植物の正確な情報の提供の必要性を実感しています。

現在は、薬用植物、生薬や生薬学実習、さらに漢方薬の講義を中心に担当していますが、これらの講義では、出来るだけ学生にインパクトを与えるため、植物を教室に持ち込んだり、五感に訴える内容にすべく努めています。企業内で学んだ経験を出来るだけ学生に伝えるよう努めて行きたいと思っています。また、学生とは、出来るだけ友達感覚をモットーに、趣味であるスキューバダイビングを通じ、海外に一緒に行っています。自然の美しさ、雄大さ、恐ろしさなどを体験させるために、これからも続けて行きたいと思っています。

最も尊敬する人物は、私の出身地である三河(愛知県豊橋市)出身の旗本で、徳川3代将軍に仕えて、多分知らない人も多いと思いますが、映画では「一心太助と彦左衛門」で、有名になった大久保彦左衛門です。常に将軍を支え、忌憚無く意見を述べると同時に、表に出ることなく、世のため、人のために働く姿勢が、好きです。今後もこの精神で、薬学部の発展に貢献したいと思っています。



薬学部 生物薬剤学
多田 均

この度、薬学部薬剤学分野の教授職を拝命いたしました。薬剤学分野は薬学部の専門領域の中でも中心となる学問ですので、その重責を痛感しております。薬学部をはじめとする諸先生方には、日頃ご指導をいただき心より感謝申し上げます。

私は、北海道薬科大学大学院を修了後、秋田大学医学部附属病院薬剤部に就職し、主任、助教授・副部长および治験薬管理センター副センター長を経て、平成18年度に奥羽大学に赴任いたしました。大学院時代は膜酵素の研究に没頭しておりましたが、薬剤部では有機合成が薬剤師の主な研究テーマであり、当初は驚嘆しながらも新規化合物の合成やその薬理的評価を行ってまいりました。本業は消化器内科、神経内科および泌尿器科（現在は腎臓置換学講座）の臨床薬剤師として患者さんの薬物療法の支援にあたっておりましたので、現在、講義の中で過去のエピソードを交えながら現場の臨場感を醸し出すようにしております。

薬学6年制は実務実習を強化し、臨床に強い薬剤師を養成することにありますが、大学設置基準には、附属病院設置義務がありません。薬学の臨床実務教育は、外部医療機関に学生を委ねるため、実務能力の担保が4年次実習に求められています。いずれにしても実務系実習は、山本五十六長官語録にあるように「やってみせ 言って聞かせて させて見せ ほめてやらねば 人は動かじ」が基本になるかと思っております。幸いなことに私は約四半世紀、臨床薬学業務と研究に従事しておりましたので、これまでの経験を奥羽大学に投じ、人間性豊かな薬剤師の養成、患者さんや他の医療従事者に信頼される薬剤師の育成に努めて参りたいと思っております。今後とも一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。



薬学部 微生物学
堀江 均

この4月より、薬学部教授を拝命いたしました。准教授の頃より引き続き、主に微生物学分野の科目を担当しております。教授という要職に就き、その責任の重さを強く感じております。

私は4年前、薬学部開設とともに埼玉から赴任いたしました。それまで、東京都にある公益法人に所属し、東京大学医学系研究科微生物学講座の客員研究員などを兼任しながら、ウイルスの研究、特にポリオウイルスに関して、遺伝子の構造解析や病原性の解析、環境中から分離したワクチン由来株の遺伝子変異に関する研究などを行ってまいりました。一方その間に、インドネシアや中国に出向し、ポリオワクチンの品質管理技術や、最先端の遺伝子解析手法を取り入れたワクチンの新しい安全性試験に係わる技術の指導、教育、講演等を数多く行ってまいりました。現在WHOが中心となり、世界規模でのポリオ根絶計画が進められていますが、このような海外での技術指導や教育は、計画達成に向けて大きく寄与したものと自負しております。

ポリオウイルスに関する研究もどうか一段落したこともあり、こちらに赴任してからは、ウイルスから細菌へと研究対象を移し、今は専ら薬剤耐性菌の耐性機構を分子レベルで解明することや、耐性化阻害に関する研究を中心に行っています。今までの経験や身に付けた分子生物学的解析手法は、新しい研究を進めるうえで大いに役立っています。

薬学6年制教育が既にスタートし、より実践力、応用力のある薬剤師を育てることが求められています。そのような優れた薬剤師を育成するために、海外での教育や指導の経験が少しでも活かされればと考えております。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



薬学部 分子生物学
小谷 政晴

平成21年4月1日付で本学薬学部薬学科の教授を拝命いたしました。御指導ならびに御鞭撻を賜りますよう宜しく御願ひ申し上げます。

私の略歴は、昭和60年3月東京農業大学大学院を学科修了退学し、昭和61年4月に浜松医科大学医学部第二解剖学教室文部教官助手として2年弱の勤務の後、(財)東京都臨床医学総合研究所に研究員として移り、日夜研究に没頭し、厳しくも楽しい研究三昧の生活を送りました。幸いにして、研究所在職15年間で約60報の国際学術専門誌に論文を掲載することができ、都民や国民の血税金で賄われている研究費を無駄にしなかったのではと思っています。その間、東京大学大学院農学生命科学研究科で農学博士を取得しました。厳しい研究を通して真に多くの友人を得ることができ、今日まで互いの外部共同研究に参加し、切磋琢磨しています。平成17年4月、本学に新設された薬学部薬学科に縁あって助教授として赴任することとなり、今日に至っています。現在の研究課題は“神経幹細胞の細胞生物学的実体とその維持機構の解析”で、主に免疫化学的、生化学的ならびに分子生物学的手法を用いて行っています。地方大学からでも“山椒の実の小粒でも・・・”という研究成果を結果として出せればと想い、日々励んでいます。

大学人として研究面での大学貢献ができるように努力すると同時に、薬学教育にも真摯に取り組み、バランス感覚のある人間力を持った薬剤師を育てることができればと思っております。重ねて宜しく御願ひ申し上げます。



薬学部 製剤学
柏木 良友

平成21年4月1日付で薬学部教授を拝命いたしました。この場をお借りしまして、ご挨拶申し上げます。

私は東北大学大学院薬学研究科から平成17年4月1日に、本学薬学部が設置されるのと同時に助教授として着任しました。着任当初は物理学、物理化学を担当しておりましたが、現在は物理化学、物理薬剤学、製剤学と、より薬学に密接した科目を担当しております。専門は物理化学、特に電気化学的手法を用いて、電極上への機能性界面の構築とその利用であります。すなわち、電極を電子移動反応場として設計・制御し、特異な活性反応種を生成させるため、機能性物質を種々の物理化学的手法で電極上に固定化させ、その電極反応挙動ならびに応用についての研究を行っています。“環境調和型有機電解合成プロセスの構築”、“二酸化炭素固定化のためのバイオエレクトロケミカルリアクターの構築”、“テーラーメイド医療を指向とした電気刺激応答型薬物放出制御マイクロチップの開発”など社会的なニーズに対応したテーマを研究の中心に位置づけています。

先端的研究の遂行に加えて、本学部の使命は、薬学教育の質を高め、信頼される薬剤師など、幅広い薬学領域で活躍する優れた薬学人材を育成することにあると思っております。「人間性豊かな医療人の育成」という本学の教育理念に基づき、日々の講義、実習、そして研究を通じて、真にその社会的責任を果たすことができるよう最大限の努力をしたいと考えております。どうぞよろしくご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

平成21年度教学関係人事

〈歯学部講座主任〉

歯科保存学	横瀬 敏志
歯科補綴学	山森 徹雄
診療科学	齋藤 高弘
口腔外科学	大野 敬
成長発育歯学	福井 和徳
放射線診断学	鈴木 陽典
医学	久野 弘武
生体構造学	渡邊 弘樹
口腔病態解析制御学	清浦 有祐
口腔機能分子生物学	宗形 芳英
生体材料学	川島 功
口腔衛生学	廣瀬 公治

〈歯学部学年主任及びクラス担任〉

学年	主任	クラス担任
1	栗城 源一	栗城 源一 城地 尚志 秋山 哲夫
2	宗形 芳英	宗形 芳英 斉藤 利博 茂呂 祐利 阿部 匡
3	清浦 有祐	清浦 有祐 岡田 有英 瀬川 洋操
4	横瀬 敏志	横瀬 敏志 菊井 洋仁 洪澤 仁昭
5	齋藤 高弘	齋藤 高弘 藤野 晃史 金清 彦
6	大野 敬	大野 敬 伊藤 博 高橋 博 高川 公 高田 信 廣井 和 福山 治 山森 徹 島村 宏

〈薬学部学年主任及びクラス担任〉

学年	主任	クラス担任
1	小谷 政晴	小野 政晴 谷島 浩和 岩木 和頼 伊藤 夫位
2	小畑 俊男	小畑 俊男 堀江 正成 山本 雅周 高橋 正成
3	曾根 孝範	曾根 孝範 小池 孝勇 柏木 良俊 山下 俊之
4	押尾 茂	高米 朋子 衛藤 典史 多田 雅昭 阿部 賢志 八卷 史子
4 (旧課程)	高田 芳伸	阿部 賢志 八卷 史子

平成21年度客員教授・非常勤講師

〈歯学部〉

客員教授

●新任

生体材料学	宮崎 隆
口腔組織学	井出 吉信

●継続

保存修復学	田上 順次
有床義歯学Ⅱ	石橋 寛二
口腔生化学	山田 正
オーラルメディスン	川島 康
オーラルメディスン	山根 源之
臨床歯科学	糸瀬 正通

非常勤講師

●新任

口腔組織学実習	大友 友昭
美術	天形 健
法医学	花岡 洋一
法医学	網干 博文
歯周病学実習	谷 暁子
英会話Ⅰ・Ⅱ	長峯 英樹

●継続

保存修復学実習	佐藤 正文
保存修復学実習	松岡 哲明
保存修復学実習	田島 直人
保存修復学実習	塩崎 洋堂
歯内療法学実習	佐藤 克
歯内療法学実習	山崎 信夫
歯内療法学実習	山田 眞義
歯周病学実習	小林 之直
冠橋義歯学実習	加藤 崇
冠橋義歯学実習	吉田 展也
冠橋義歯学実習	小野崎 裕
有床義歯学Ⅰ・Ⅱ実習	白井やよい
有床義歯学Ⅰ・Ⅱ実習	浅井 政一
有床義歯学Ⅰ・Ⅱ実習	海老原 寛子
有床義歯学Ⅰ・Ⅱ実習	高玉 典彦
臨床実習(シミュレーション)	菊池 利也
臨床実習(シミュレーション)	森川 公博
臨床実習(シミュレーション)	佐熊 研
総合科目Ⅲ	阪口 英夫
口腔外科学・口腔外科臨床実習	宮島 久
小児歯科学実習	金子 知弘
小児歯科学実習	原 憲司
歯科矯正学実習	田所 生利
歯科矯正学実習	荻野 久
歯科矯正学実習	大原 尚明
歯科矯正学実習	三宅 弘直
歯科放射線学・歯科放射線学臨床実習	笹野 高嗣
歯科放射線学・歯科放射線学臨床実習	丸茂 町子
歯科放射線学・歯科放射線学臨床実習	櫻井 孝
歯科放射線学・歯科放射線学臨床実習	小林 富貴子
解剖学・解剖学実習	佐藤 功二
口腔解剖学・口腔解剖学実習	田原 充
歯科薬理学・歯科薬理学実習	沼倉 博人

歯科薬理学・歯科薬理学実習	高橋 顯仁
歯科薬理学・歯科薬理学実習	小川 勝弘
口腔生理学・口腔生理学実習	辻 満
口腔生理学	富田 祐介
口腔生化学	石井 哲郎
口腔生化学実習	原元 信貴
生体材料・歯科材料学実習	熊倉 学
生体材料・歯科材料学実習	覚本 嘉美
生体材料・歯科材料学実習	覚本 嘉美
生体材料・歯科材料学実習	泉 俊郎
口腔衛生学実習	中川 正晴
口腔衛生学実習	大澤 武雄
口腔衛生学実習	菊地 正樹
口腔衛生学実習	相馬 親良
法理学	服部 寛
倫理学	昆野 伸幸
医療人間学	吉田いよ
医療人間学	鈴木 俊子
オーラルメディスン	外木 守雄
オーラルメディスン	小澤 靖弘
オーラルメディスン	森本 光明
オーラルメディスン	渡邊 裕

〈薬学部〉

非常勤講師

●新任

現代経済論	後藤 康夫
看護概論	長谷川 淳子
日本古典文学	鈴木 早苗
事前学習	
白石 正畑	伸一 石川 元子
杉浦 伸一	高橋 正晃 島貫 英二
山田善之進	宮沢 伸介 大向 香織
高野真紀夫	石澤 洋史 白坂 正良
渡辺 剛	町野 紳

●継続

英語A・英語B	福富 靖之
くすりと法・薬事関係法規Ⅰ	小松 進
日本語表現論	佐藤 宣男
英語Ⅰ	中野 富士雄
情報科学実習	加藤 勝洋

英語Ⅱ
スポーツと健康
心理学・心の科学
倫理学・日本文化論
法学
薬学英語A

秋間 聖代
池田 弘一
川原 正広
昆野 伸幸
河北 洋介
山下 由美

〈兼任〉
清野 晃孝 准教授 臨床床 4月1日付
診療科 臨床教授
小池 勇一 教授 医 4月1日付
薬学部 附属病院
衛藤 雅昭 教授 医 4月1日付
薬学部 附属病院

〈任用〉
畑 孝一 教授 社会学 4月1日付
原田 卓哉 准教授 放射線診断学 4月1日付
小林 康二 講師 歯科補綴学 4月1日付
茂呂 尚紀 助教 歯科補綴学 4月1日付
坂井 祐真 助手 歯科補綴学 4月1日付
渡邊 浩秀 助手 歯科補綴学 4月1日付
中沢 紀子 講師 文学 4月1日付
杉山 明子 助教 口腔病態解析制御学 4月1日付
大河内 瑠夏 助手 歯科保存学 4月1日付
高橋 一人 助手 歯科保存学 4月1日付
濱田 智弘 講師 口腔外科学 4月1日付
園田 正人 助教 口腔外科学 4月1日付
宮下 照展 助手 口腔外科学 4月1日付
伊藤 寛 助手 口腔外科学 4月1日付
春山 博貴 助教 成長発育歯学 4月1日付
廣瀬 将邦 助教 成長発育歯学 4月1日付
吉永 聡 助手 成長発育歯学 4月1日付
山口 英久 講師 臨床 4月1日付
阿部 剛一 講師 臨床 4月1日付
馬庭 暁人 講師 臨床 4月1日付
鈴木 厚子 講師 臨床 4月1日付
川原 直樹 助手 臨床 4月1日付
鈴木 秀太 助手 臨床 4月1日付
高橋 範之 助手 臨床 4月1日付
土橋 信介 助手 臨床 4月1日付
西本 秀平 助手 臨床 4月1日付
狩野 裕美 助手 臨床 4月1日付
雨宮 幹樹 助手 臨床 4月1日付
佐々木健聡 助手 臨床 4月1日付
佐藤 淳 助手 臨床 4月1日付
小野寺海保 助手 臨床 4月1日付
佐藤 仁昭 助手 臨床 4月1日付
山城 邦明 助手 臨床 4月1日付
中山 奈美 助手 臨床 4月1日付
波多江 崇 講師(実務家) 薬学部 4月1日付

人事

〈指定職選任〉
廣井 邦雄 薬学部 4月1日付
上野 明道 薬学部学生部長 4月1日付
安藤 勝 図書館長 4月1日付

〈昇任〉
山森 徹雄 准教授 歯科補綴学 4月1日付
阿部 匡聡 助 生 体 材 料 講 師 4月1日付
田谷かほる 助手・口腔病 助教・口腔病 4月1日付
態解析制御学 態解析制御学
藤井 祐一 准 教 授 教 授 4月1日付
薬学部 薬学部
多田 均 准 教 授 教 授(実務家) 4月1日付
薬学部 薬学部
堀江 均 准 教 授 教 授 4月1日付
薬学部 薬学部
小谷 政晴 准 教 授 教 授 4月1日付
薬学部 薬学部
柏木 良友 准 教 授 教 授 4月1日付
薬学部 薬学部
岩木 和夫 講 師 准 教 授 4月1日付
薬学部 薬学部
木田 雄一 助 手 講 師 4月1日付
薬学部 薬学部
高橋 成周 助 手 講 師 4月1日付
薬学部 薬学部
佐藤 博泰 助 手 講 師 4月1日付
薬学部 薬学部
八巻 史子 助 手 講 師 4月1日付
薬学部 薬学部

深谷 朋美 助手(実務家) 薬学部 4月1日付
寺澤 理恵 助 手 口腔病態解析制御学 5月8日付
服部 由香 助 手 薬学部 5月8日付
鈴木 孝司 助 手 薬学部 5月8日付

鷲 健一 事務職員 総務部 4月1日付
近野 睦月 事務職員 学事部 4月1日付
渡部 一 事務職員 学事部 4月1日付
鈴木 芳文 薬剤師 附属病院 4月1日付

〈昇格〉
伊藤 喜章 旧 図書課長 図書部長 4月1日付
図書館事務部 図書館事務部

武田 光市 守 衛 守衛主任 4月1日付
総 務 部 総 務 部

三浦 孝英 主 任 教務係長 4月1日付
学 事 部 学 事 部

安齋貴美子 事 務 員 主 任 4月1日付
学 事 部 学 事 部

櫻井映理子 事 務 員 主 任 4月1日付
学 事 部 学 事 部

宗像 貴光 事 務 員 主 任 4月1日付
病 院 事 務 部 病 院 事 務 部

柴田由美子 臨 検 査 技 師 臨 検 査 技 師 主 任 4月1日付
附 属 病 院 附 属 病 院

〈採用〉
伊野 法子 事 務 員 総 務 部 4月1日付
佐久間奈美 事 務 員 総 務 部 4月1日付

〈訃報〉
歯学部・口腔病態解析制御学講座の教授・濱田節男(59歳)が平成21年5月20日に永眠されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

〈委員会からのお詫びと訂正〉
前号(121号)P.7「(薬)第1学年早期体験学習」の記事の中で、本来7~8行目に入る下記原稿が抜けてしまう間違いがありました。

=====
保持のための包装の重要性について、それぞれ担当の社員の方の講義を拝聴した。
=====

謹んで、お詫び申し上げます、訂正させていただきます。

〈委員会からのお知らせ〉
本学報は、同窓生と在学生の保護者あてに送付しております。転居・住居表示の変更の場合は下記までご連絡くださいますようお願いいたします。その際、お手数でも宛名シールの番号をご記入いただければ幸いです。なお、皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

連絡先/奥羽大学 総務部 広報担当

奥羽大学報122号(通算No.247)平成21年5月31日発行
発行 奥羽大学
学報編集委員会
委員長 清水秋雄
〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
電話 024(932)8931⑩ FAX 024(933)7372
ホームページアドレス http://www.ohu-u.ac.jp
メールアドレス info@ohu-u.ac.jp